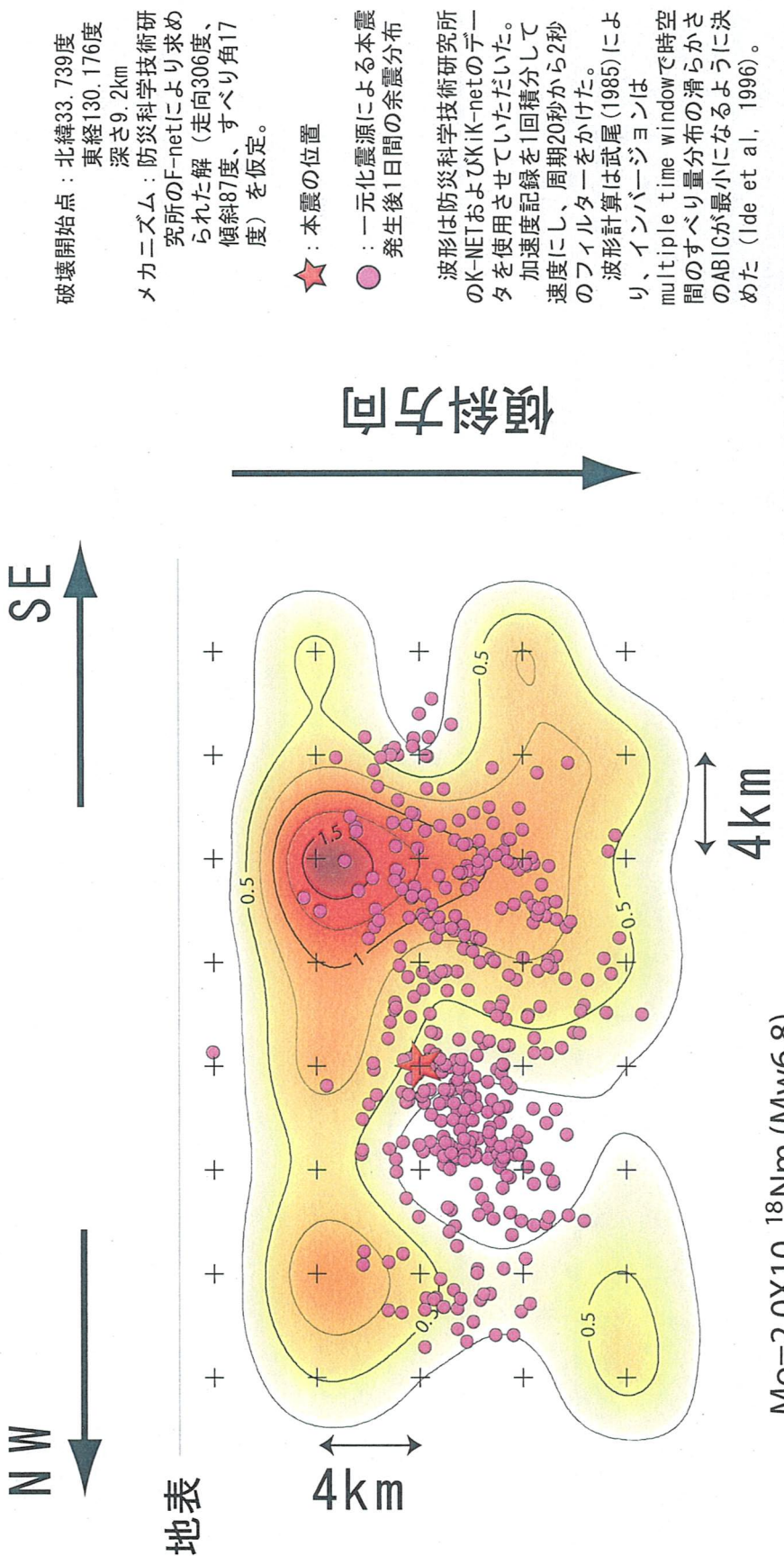


2005年3月20日福岡県西方沖地震 (M 7.0)

震源過程と余震分布 (本震発生後1日間)



破壊開始点：北緯33.739度
 東経130.176度
 深さ9.2km

メカニズム：防災科学技術研究所のF-netにより求められた解（走向306度、傾斜87度、すべり角17度）を仮定。

★：本震の位置

●：一元化震源による本震発生後1日間の余震分布

波形は防災科学技術研究所のK-NETおよびKIK-netのデータを使用させていただいた。加速度記録を1回積分して速度にし、周期20秒から2秒のフィルターをかけた。波形計算は武尾(1985)により、インバージョンは multiple time windowで時空間のすべり量分布の滑らかにさせるABICが最小になるように決めた (Ide et al, 1996)。